

# 政策シート

(政策名) 観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化  
 (予算費目名) 観光・シティプロモーション振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

### ◇政策の概要

観光が地域の持続的発展を支える主要産業に位置付けられ、多様な主体による観光地域づくりにより市民が愛着や誇りを持てる都市を実現するため、戦略的な観光誘客と推進基盤を確立する。

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	502,509	950,741	2,239,786	1,471,313
決算	465,004	1,003,284	1,586,069	
人件費(A)	84,700	116,300	134,500	122,500
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	549,704	1,119,584	1,720,569	1,593,813

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
観光交流客数	千人	-	目標	19,400	20,400	21,000	22,330
			実績	18,276	19,620	(H30.8確定)	
			目標				
			実績				

### ◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化を目指すため、産業や自然環境などの地域資源を活かし、浜名湖観光圏事業、インバウンド推進事業、コンベンション推進事業等を推進するとともに、文化、商業等の資源を活用した都市型観光の推進などを行う。

### ◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

2017年大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送が決まったことを受け、市長を本部長とする浜松市「おんな城主 直虎」推進本部を設置し、全庁体制で「直虎プロジェクト」を推進した。また、観光団体、経済団体、その他団体・企業等の代表の官民連携により設置された「おんな城主 直虎」推進協議会と協働し、地域全体の活性化を図った。

これまでのインバウンド推進事業の取り組みにより、外国人宿泊客の増加に向けて取り組んだ。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	観光施設運営事業					306,674	301,074	0.8			
2	観光客誘致事業	○	○	○		101,583	80,583	3.0			
3	浜松・浜名湖DMO形成支援事業	○	○	○		43,800	27,700	2.3			
4	海外戦略推進事業	○	○	○		61,059	44,959	2.3			
5	MICE推進事業	○	○	○		53,516	52,816	0.1			
6	観光宣伝事業	○		○		106,279	75,479	4.0			1.0
7	ふるさと納税事業			○		896,732	875,732	2.2			2.0
8	観光施設整備基金積立金					727	27	0.1			
9	観光・シティプロモーション運営経費					23,443	12,943	1.5			
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,593,813	1,471,313	16.3			3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 観光施設運営事業

## ◇事業目的・事業対象

観光客に対する利便性等を高めるため、市が所管する観光施設等を運営・管理する。

## ◇事業の概要

下記の市内12の観光施設等の維持修繕及び運営・管理を行う。  
 ①館山寺地区(ターミナル、サンビーチ、トイレ等)、②東海自然歩道(歩道、休憩舎、トイレ等)、③観光バス公共駐車場(指定管理)、④舞阪駐車場(弁天島海浜公園、渚園、舞阪表浜)、⑤渚園(指定管理)、⑥弁天島海浜公園(直営・管理運営)、⑦気賀関所(指定管理)、⑧浜松まつり会館(指定管理)、⑨犀ヶ崖資料館(直営・管理運営)、⑩相津マリナー(指定管理)、⑪国民宿舎奥浜名湖(指定管理)、⑫その他施設(浜名湖かんざんじ荘、あらたまの湯等)。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	206,600	206,355	276,095	301,074
	決算	184,482	215,016	267,778	
	国・県支出	6,629	5,970	5,948	9,489
	市債				
	その他	110,440	122,185	92,141	49,716
	一般財源	67,413	86,861	169,689	241,869
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		7,000	5,600	5,600	5,600
人工	正規	1.0	0.8	0.8	0.8
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

下記に掲げる、市内の12の観光施設等の維持修繕及び運営・管理を実施した。  
①館山寺地区(ターミナル、サンビーチ、トイレ等)、②東海自然歩道(歩道、休憩舎、トイレ等)、③観光バス公共駐車場(指定管理)、④舞阪駐車場(弁天島海浜公園、渚園、舞阪表浜)、⑤渚園(指定管理)、⑥弁天島海浜公園(直営・管理運営)、⑦気賀関所(指定管理)、⑧浜松まつり会館(指定管理)、⑨犀ヶ崖資料館(直営・管理運営)、⑩相津マリーナ(指定管理)、⑪国民宿舎奥浜名湖(指定管理)、⑫その他施設(浜名湖かんざんじ荘、あらたまの湯等)。

・事業の成果と課題

指標の達成度

市内観光施設などの維持修繕、管理運営を適正に実施した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

市内観光施設などの維持修繕、管理運営を適正に実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

観光客に対する利便性の向上などにより観光誘客の拡大を図るため、引き続き市内観光施設などの維持修繕・管理運営を行う。

## 行財政改革の取り組み (事業名) 観光施設運営事業

### ◇取組概要

指定管理者制度を導入している国民宿舎奥浜名湖の更なる民間活力の導入に向けた取り組みを行う。

### ◇行財政改革の視点 4 市民協働・官民連携の推進

### ◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 \_\_\_\_\_

取組事項名 \_\_\_\_\_

個別計画等 計画名等 \_\_\_\_\_

政策・事業シート(以下の項目に記載)

### ◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	納入金(円)	計画値	20,809	24,019	24,260	24,502	(H31)24,747
		実績値	21,600	24,267	26,561		
2		計画値					
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)							

### ◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》  
国民宿舎奥浜名湖の民活導入として、指定管理者制度を導入し、計画どおりの納付金収入があった。  
(指定管理期間:H28.4.1~H33.3.31)

# 事業シート (事業名) 観光客誘致事業

## ◇事業目的・事業対象

観光交流人口等を拡大するため、大型観光誘客イベントを開催する。  
 また、国内外からの観光誘客及び滞在促進に向け、国から認定を受けている「浜名湖観光圏」の整備に向けた事業を官民連携で推進する。

## ◇事業の概要

- (1) 浜松まつり事業  
 本市最大のイベントである浜松まつりの開催を通じて、観光交流人口を拡大する。
- (2) 出世の街 浜松 家康公祭り事業  
 「出世の街 浜松」の全国発信並びに家康公ゆかりの歴史的・文化的財産や価値を再発見し、新たな文化・観光を創出する。
- (3) デスティネーションキャンペーン推進事業  
 平成31年4月～6月に行われる国内最大の観光キャンペーン「静岡デスティネーションキャンペーン(DC)」の成功に向け、本年度プレキャンペーンを実施するとともに、魅力ある商品造成や旅行会社への売込み等に取り組む。  
**【重点戦略項目 No.17】**
- (4) 浜名湖観光圏整備推進支援事業  
 国の「観光地域ブランド確立支援事業」の支援も受けつつ、浜名湖周辺の官民で構成する「浜名湖観光圏整備推進協議会」において観光誘客事業を実施する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
不明	-	一般会計	自治事務(その他)	-	○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	201,834	561,601	608,438	80,583
	決算	114,666	616,130	516,878	
	国・県支出	18,397	15,000		
	市債				
	その他	100	24,300	9,000	14,000
	一般財源	96,169	576,830	507,878	66,583
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		13,300	50,500	50,500	21,000
人工	正規	1.9	6.7	6.7	3.0
	再任用(h31)		1.0	1.0	
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
観光交流客数(千人)				Ⅲ-2(2)イ		17
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	19,400	20,400	21,000	22,330	23,700	-
実績値	18,276	19,620	(H30.8確定)			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
滞在プログラム数(件)						17
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	70	80	100	115	150
実績値	64	59	82			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【決算 609,435千円(うち前年度繰越 1,292千円)】

■浜松まつり事業

・本市最大のイベントである浜松まつりを開催することにより、観光客の誘致及び交流人口の拡大を図る。

■出世の街浜松家康公祭り事業

・出世の街浜松家康公祭りを開催し、市域外への浜松のアピールをはじめ、観光誘客及び交流人口の拡大、更には家康公が遺した歴史的・文化的財産や価値を再発見し、新たな文化・観光を創出しながら都市の魅力度向上を目指す。

■直虎プロジェクト推進事業

・大河ドラマ放送を契機に奥浜名湖をはじめとする市域全体の受入体制を整備し、井伊直虎を活用した誘客を図る。

【重点戦略項目 No.17】

■浜名湖観光圏整備推進支援事業

・浜名湖周辺の官民で構成する「浜名湖観光圏整備推進協議会」において事業実施。

・国の「観光地域ブランド確立支援事業」の支援を受け、事業を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

浜松まつり、出世の街浜松家康公祭りなどを開催し、観光誘客、交流人口の拡大につなげた。

直虎プロジェクトの推進においては、啓発受入、誘客宣伝、環境整備、交通輸送の4つのワーキングを中心として戦略的に取り組み、大河ドラマ館の入館者数50万人の目標に対して78万人を超えるなど、目標を大きく上回る成果を上げることができた。

課題としては、地域の観光を担う人材の育成やレベルアップが必要である。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

直虎プロジェクト推進事業では、市民啓発のための講演会や市内各所における広告・広報、小・中学生への直虎紹介冊子の配布など啓発事業に取り組んだ。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送終了による観光誘客の減速を防ぐため、徳川家康公、井伊直虎・直政を含め、歴史や文化などを活用して出世の街を全国にPRし、リピーターや更なる誘客につなげる。

## 補助シート (事業名) 観光客誘致事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり</li> <li>・国の「観光地域ブランド確立支援事業」による支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり</li> <li>・国の「観光地域ブランド確立支援事業」による支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり</li> </ul>

# 事業シート (事業名) 浜松・浜名湖DMO形成支援事業

## ◇事業目的・事業対象

地域が観光で稼ぐ力を強化するため、本市と湖西市を圏域とする地域連携DMOの形成を支援する。

## ◇事業の概要

(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューローに対して負担金を支出し、下記の事業を通じてDMOによる観光地域づくり体制を形成する。

- ①DMOの機能強化  
専門人材を登用し、マーケティングに基づく戦略策定などDMO組織のマネジメント力を強化する。
- ②マーケティング調査  
KPIの測定のためのデータ収集や分析、インバウンド動態などのマーケティング調査を実施する。
- ③収益モデルの構築・民間事業者との事業連携  
マーケティング結果や戦略を民間事業者と共有し、収益モデルの構築に向けた連携や協業を促進する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算			3,980	27,700
	決算			3,980	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源			3,980	27,700
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)				16,100
	正規				2.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
一人当たり旅行消費額(円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			34,500	35,500	35,500	35,500
実績値	27,652	26,644	H30.12頃確定			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
来訪者満足度(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			89	89	90	90
実績値	87	90	H30.12頃確定			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
来訪者満足度(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
来訪者満足度(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ①マーケティング専門人材の募集及び選定
- ②マーケティング専門人材とのアドバイザー契約による次年度戦略の調整
- ③啓発セミナーの開催によるDMOへの理解の促進
- ④DMO設立準備室を運営するためのスタッフ及び事務機器の確保

・事業の成果と課題

指標の達成度

①②  
 転職運用サイトを活用し、専門人材を全国公募したところ364人の応募を得た。書類審査及びレポート提出を経て、2度の面談を行い、最終的に平成30年1月に登用する人材を決定した。決定後、ただちにアドバイザー契約を締結し、平成30年4月のDMO設立に向けた運営体制や事業計画の立案に助言をいただいた。

③DMOの役割の理解と、4月から設立する(公財)浜松。浜名湖ツーリズムビューローの役割や体制について、広く関係者や一般市民に知っていただくセミナーを、圏域である浜松市と湖西市の両市内で1回ずつ開催し、述べ100人を超える参加者を得た。

④DMO設立準備のため、臨時職員を雇用するとともに、民間からの派遣職員の受け入れに要する事務机やパソコンなどの調達を行った。

・事業の見直し

実施結果  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

・専門人材の登用により、マーケティングによる戦略的プロモーションを実行し観光地経営を行う機能を付加したことで、DMO候補法人からDMO法人への認定が認められた。

今後の方向性  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

・今後は、より多くの関係者を巻き込み連携や協業による事業を拡大し、観光による地域づくりの舵取り役であるDMOを確実に構築していく必要がある。

# 事業シート (事業名) 海外戦略推進事業

## ◇事業目的・事業対象

アジア地域をはじめとした海外からの観光誘客のため、都市間交流の推進と新規マーケット開拓やトップセールス等を実施し、本市の国際的認知度を向上させるとともに、外国人観光客が快適な観光を楽しめるように受入態勢を構築する。

## ◇事業の概要

【重点戦略項目 No.13、14、18】

(1) インバウンド推進事業

・ビジットハママツ推進事業

中国、台湾、ASEANからの訪日外国人誘客に向けたセールス活動などを行う。

・浜名湖観光圏整備推進協議会負担金

台湾やASEANで開催される旅行博等への出展や訪日外国人の受入環境整備などを行う。

・広域連携インバウンド推進事業

中部圏観光団体等との広域連携により訪日外国人の誘客事業などを行う。

・広域連携団体負担金

国際観光振興機構等、広域観光事業を実施する団体と連携し、訪日外国人の誘客事業などを行う。

・多言語版観光パンフレット等の作成

中国、台湾、ASEAN等へのセールス用パンフレットを作成する。

・グローバル人材活用事業

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	12,123	42,393	51,872	44,959
	決算	40,529	37,964	42,066	
	国・県支出	12,704	9,644	13,055	15,598
	市債				
	その他				
	一般財源	27,825	28,320	29,011	29,361
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		19,600	16,100	16,100	16,100
人工	正規	2.8	2.3	2.3	2.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
海外戦略担当部署の設置				-		13
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	設置に向けた検討	達成	-	達成	-	-
実績値	達成					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
トップセールスの実施回数(回)				-		14
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
無料Wi-Fi整備支援件数(件)				-		18
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	16	20	50(累計)		
実績値	14	19	9			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
外国人宿泊客数(千人/年)				Ⅲ-2(2)イ		13
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	215	236	257	350	360	
実績値	399	333	(H30.8確定)			

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.13、14、18】

■インバウンド推進事業

- ・ビジットハママツ推進事業
- ・浜名湖観光圏整備推進協議会負担金、広域連携団体負担金
- ・多言語版観光パンフレット等作成 ほか

■グローバル人材活用事業

- ・国際交流員の招致
- ・CLAIRの制度を活用し、友好都市の瀋陽市から職員受入れ
- ・台湾連絡員の設置

■湖サミット開催事業(負担金)

- ・協定関係にある中国杭州市の西湖、台湾の日月潭の関係者を招請し、浜名湖の関係者との交流を図る中で、3湖による観光誘客の連携を推進

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・本市の外国人宿泊客の80%を占める中国からの団体ツアー客の減少の影響と、大河ドラマ需要による国内旅行者への対応で、総じて外国人宿泊客の伸びは低迷状況にある中、本市が高いポテンシャルを持つ音楽文化に着目した教育旅行が着実に増えてきており、台湾を中心に教育と産業、文化を一体的に提供できる良質なコンテンツの存在が周知されつつある。
- ・湖サミットでは、3湖の関係者による共同プロモーションや情報発信などの連携の強化を確認することができ、本市にとっては、世界的に有名な西湖と日月潭の知名度を活用した認知度のアップに強固な基盤を構築することができた。
- ・また、商談会やファムにおいて、中国と台湾の旅行会社等に当地の観光地や産業施設を見学いただく中で、福祉施設など新たな視点で訪日旅行に結びつくコンテンツなどを提案いただくことができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  現状  小項目  一部委託  /  事業費  現状  人工  現状

訪日旅行の形態が、団体から個人にシフトしているが、今のところ、中国からの団体客は量も多いため、本市のインバウンドの柱に据えていく。個人旅行者をターゲットとした誘客は、今後、ビューローを改組しDMOとして機能強化する中で、マーケティングに基づいた戦略を練り、一層充実させていく。

今後の方向性

大項目  現状  小項目  一部委託  /  事業費  現状  人工  現状

- ・中国のみならず、台湾やアセアン地域からの誘客を強化し、中長期的にこうした地域からの宿泊者数を増加させる。
- ・個人旅行の形態が進む市場を対象に、2次交通のパスを活用したモデルコースの作成やプロモーションを展開する。
- ・ラグビーワールドカップの開催を見据え、新たなターゲットとしてヨーロッパやオーストラリアの富裕層やラグビーファンの長期滞在に対応する観光商品づくりについて、愛知県などとの広域連携を積極的に進めていく。

## 補助シート (事業名) 海外戦略推進事業

◇事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
13 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット地域へのプロモーション</li> <li>・西湖-浜名湖連携プロモーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット地域へのプロモーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット地域へのプロモーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット地域へのプロモーション</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客受入態勢の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客受入態勢の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客受入態勢の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客受入態勢の整備</li> </ul>

# 事業シート (事業名) MICE推進事業

## ◇事業目的・事業対象

国際会議や展示会、企業等の会議や報奨・研修旅行等の誘致を推進し、観光交流客数と観光消費額を増加する。

※MICE

## ◇事業の概要

### 【重点戦略項目No.15】

#### ①観光・コンベンション推進事業

官民連携による観光・コンベンション誘致事業推進体制の整備やコンベンション主催者へのセールス活動などを行う。

#### ②コンベンション開催支援事業負担金

本市で国際会議などを開催する主催者に対して一定額を支援(開催助成金等)する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H1	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算		55,115	55,316	52,816
	決算	52,830	54,926	55,313	
	国・県支出	22,139			
	市債				
その他	一般財源	30,691	54,926	55,313	52,816
	一般会計繰入金				
	人件費(報酬等) (千円)				
人工	人件費 (千円)	3,500	700	700	700
	正規	0.5	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
国際会議等誘致件数(件)				-		15
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2	3	3	3	3	3
実績値	4	3	3			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
新規賛助会員数(団体)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	35	35	35	35	-	35
実績値	82	6	9			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
コンベンション支援件数(件)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	170	200	200	200	-	200
実績値	171	166	150			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
滞在プログラム参加者数(人)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,000	1,100	1,100	1,100	-	1,100
実績値	3,778	3,055	13,524			

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目No.15】  
 ■コンベンション推進事業  
 ○観光・コンベンション推進事業業務委託  
 ・委託先: 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー  
 ・業務内容: 『地域が一体となった観光・コンベンション誘致事業推進体制の整備、観光地域づくり』、『コンベンションの振興』、『観光振興』『本市及び本市関連組織が実施する事業への積極的な関与及び民間事業者への周知、民間事業者と連携した組織体制の構築、強化』  
 ○コンベンション開催支援事業負担金  
 ・交付先: 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー  
 ・事業内容: コンベンションの主催者に対する支援(助成金等)

・事業の成果と課題

指標の達成度  
  
 ・浜松観光コンベンションビューローを中心として、官民一体となった推進体制により、観光・コンベンションの魅力向上、情報収集と発信に向けた事業を実施した  
 ・滞在プログラムの販売にも、Web決裁ができる仕組みを導入するなど、今後の参加者の拡大に向けた機能の充実を図っている。  
 ・コンベンション開催支援事業負担金を増額したことにより、他都市に引けを取らない誘致競争力を得たが、はまホールがなくなったことで誘致の柱となるアクトシティの稼働率が高くなり、予約が取りづらいことで頭打ちとなっている。  
 ・新規賛助会員の増加は、平成30年から地域連携DMOへの移行を図る中、新体制の確立をもって新たに組み込むこととした。

・事業の見直し

実施結果  
 大項目  小項目  /  事業費  人工   
 経済効果の高い国際会議等については、できるだけ意向に沿って本市での開催が実現できるよう、アクトシティのホールの管理者である文化振興財団との連携を密にし進めている。

今後の方向性  
 大項目  小項目  /  事業費  人工   
 DMOとして、マーケティングに基づく戦略を多様な事業者等と共有する中で、新たな連携や協業による事業の立ち上げに注力する。こうした事業により、地域の稼ぐ力を高めることで、浜松・浜名湖ツーリズムビューローの観光地域づくりの中核的組織としての地位を確立していく。

# 補助シート (事業名) MICE推進事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
15	・コンベンションの誘致 ・コンベンションの支援	・コンベンションの誘致 ・コンベンションの支援	・コンベンションの誘致 ・コンベンションの支援	・コンベンションの誘致 ・コンベンションの支援

## 行財政改革の取り組み (事業名) MICE推進事業

### ◇取組概要

行革審答申により、組織の強化、経営の効率化を図るため、他団体との統合を進めることとされているが、設立・事業目的の相違などにより、統合のメリットを見出しにくい。専門性の向上などによる組織強化を図り、将来の他の観光協会との統合を視野に連携体制を構築していく。

### ◇行財政改革の視点 4 市民協働・官民連携の推進

### ◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 4001-10  
 取組事項名 (公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューローの経営健全化

個別計画等 計画名等 外郭団体コミットメント

### 政策・事業シート(以下の項目に記載)

### ◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	計画値					
	実績値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額(千円)						

### ◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

# 事業シート (事業名) 観光宣伝事業

## ◇事業目的・事業対象

観光案内等の情報発信、広域観光振興団体への参画、市内各地域の観光事業の振興、ロケの誘致、特産品のPRなどを通じて観光誘客を推進する。

## ◇事業の概要

- (1) 観光案内推進事業  
観光インフォメーションセンターや各地区の観光案内所、ウェブサイト「浜松だいすきネット」の管理運営などを行う。
- (2) 観光宣伝支援事業  
観光振興を目的とする各種団体に参画し、広域観光事業等を実施する。
- (3) 観光振興助成事業  
市内各地域の観光協会が行う観光振興事業を支援する。
- (4) フィルムコミッション推進事業  
映画やドラマ等の誘致や撮影活動を支援する。
- (5) 特産品カタログギフト事業  
本市の特産品等をまとめたカタログギフトを販売する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
不明	-	一般会計	自治事務(その他)		○	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	68,161	71,164	77,076	75,479
	決算	60,554	67,362	71,883	
	国・県支出				
	市債				
	その他	5,000	17,000	9,000	4,000
	一般財源	55,554	50,362	62,883	71,479
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		26,600	30,100	30,100	30,800
人工	正規	3.4	3.9	3.9	4.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
観光交流客数(千人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	19,400	20,400	21,000	22,330	23,700	-
実績値	18,276	19,620	(H30.8確定)			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

■観光案内推進事業

・観光インフォメーションセンター、観光案内所、ツーリズムセンターの運営及び観光案内ウェブサイトの管理運営のほか、観光パンフレットの作成、広告の掲出など、本市の魅力や観光情報を発信し、観光誘客の拡大を図る。

■観光宣伝支援事業

・観光振興を目的とする各種団体に参画し、連携事業の実施、広域観光事業などの情報収集を行う。

■観光振興助成事業

・市内各地域の観光事業の振興とその円滑な推進を図ることにより、本市の観光誘客力を強化する。

■フィルムコミッション推進事業

・浜松市内へのロケ誘致やロケ支援を行うことにより、ロケ隊の直接的経済効果に加え、放映による本市の知名度の向上、集客力の強化、観光誘客による地域の活性化を図る。

■特産品カタログギフト事業

・本市が全国に誇る特産品等をまとめたカタログを作成、販売し、本地域のブランド化を図り観光誘客を促進する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

フィルムコミッション推進室の取り組みにより、ロケ支援件数が伸びている。支援作品等を活用して観光交流客数の増加につなげる取り組みを検討する必要がある。

観光関係団体への負担金については、加入の必要性、費用対効果などを検討する。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 一部委託 / 協働・助成 事業費 現状 人工 現状

フィルムコミッション推進室を設置し、専任職員を設けた中で、支援活動が軌道に乗ってきたことに伴い、ロケ支援件数が大きく伸びた。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 業務改善 / 協働・助成 事業費 拡大 人工 現状

観光関係団体への負担金については、加入の必要性、費用対効果などを検討する。

destinationキャンペーン本番に向け、観光関係団体との連携を強化する。

# 事業シート (事業名) ふるさと納税事業

## ◇事業目的・事業対象

ふるさと納税制度に基づき、全国から寄附金を集めるとともに、特産品の返礼を通じて地域産業を振興する。

## ◇事業の概要

寄附受付サイトを活用し、全国から寄附金を集めるとともに、寄付者に対して本市の特産品を返礼品としてお贈りする。

### ①寄附受付サイト

ふるさとチョイス さとふる ANAのふるさと納税 楽天ふるさと納税 ふるなび

### ②返礼品

浜名湖うなぎ、浜松餃子、三ヶ日みかんなど約800種類

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	○

## ◇事業のコスト

事業費(千円)		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算			1,154,119	875,732
	決算			616,786	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他			616,786	875,732
	一般財源				
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)			18,200	21,000
	正規			2.2	2.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤			1.0	2.0

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
ふるさと納税寄附額(百万円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	85	1,500	1,500		1,500
実績値	31	790	944			
ふるさと納税寄附件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3,000	3,580	75,000	75,000		75,000
実績値	1,673	24,873	43,006			
ふるさと納税返礼品(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
ふるさと納税返礼品(千円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

■ふるさと納税事業  
 ふるさと納税による寄附金受入額の増加を図るため、ふるさと納税ポータルサイトと契約し、返礼品情報の掲載と寄附受付を実施。また、返礼品の調達及び配送管理並びにコールセンター業務については、専門業者と業務委託契約を締結し、寄附者対応及び返礼品提供事業者対応を実施。その他、寄附金税制に関する事務(ワンストップ特例申請処理)、返礼品を通じて本市の魅力を発信するためのプロモーション業務等を実施。

○寄附受付サイト  
 ・ふるさとチョイス(株)トラストバンク  
 ・さとふる(株)さとふる  
 ・ANAのふるさと納税(全日空商事(株))

○ワンストップ特例申請処理  
 ・件数: 6,923人(8,194件)、送付先自治体: 787か所(政令指定都市の税務事務所を含む)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・返礼品の充実や寄附受付サイトの追加を実施することで、前年度を上回る寄附金となった。  
 ・返礼品の調達及び配送管理について、寄附受付サイト毎の個別契約を見直し、一括契約に見直すことで経費を縮減し、収支を改善した。

・事業の見直し

実施結果  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

・ふるさと納税ポータルサイト「ANAのふるさと納税」からの寄附受付の開始による寄附者の利便性向上や、シティプロモーション事業と連携したプロモーションなどにより、前年度を上回る寄附金となった。  
 ・返礼品の調達及び配送管理について、寄附受付サイト毎の個別契約を見直し、一括契約とすることで経費を縮減した。  
 ・総務省通知に沿った返礼品の見直しなど制度の適正化を図った。

今後の方向性  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

・さらなる寄附金受入額の増加を図るため、総務省通知に沿った対応を原則とし、寄附受付サイトの拡充、返礼品の拡充、戦略的なプロモーションなどを実施する。  
 ・寄附件数やワンストップ特例申請の増加に伴う事務量の増加に対応するため、必要人工の拡大が見込まれる。

## 事業シート (事業名) 観光施設整備基金積立金

### ◇事業目的・事業対象

浜松市観光施設整備基金に予算で定める額を積み立てて、温泉を利用する地域における観光施設の整備費に充当する。

### ◇事業の概要

浜松市観光施設整備基金の運用利子の積立。  
 「浜松市観光施設整備基金に関する条例」第6条(処分)に合致した観光施設整備事業を行う際に、予算で定める額を一般会計へ繰り出す。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S53	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	270	141	27	27
	決算	270	141	67	
	国・県支出				
	市債				
	その他	270	141	67	27
	一般財源				
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

温泉を利用する地域の観光施設の整備費に充てるため、浜松市観光施設整備基金に基金の運用利益及び入湯税のうち予算で定める額を積み立てる。  
当初、入湯税のうち予算で定める額を毎会計年度積み立てていたが、平成6年度から入湯税の積み立ては行っていない。現在、金融機関での基金運用により発生する利子を積み立てている。  
浜松市観光施設整備基金に関する条例第6条(処分)に合致した整備事業を行う際、予算で定める額を一般会計へ繰り出す。【現在、積み立てられている基金の入湯税は館山寺温泉分。】

・事業の成果と課題

指標の達成度

基金運用収入を積み立てた。  
新事業、整備事業等の予算確保が厳しくなっているため、温泉利用地区の事業については基金を活用した事業展開が必要である。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

基金運用収入を積み立てた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

温泉利用地区の事業については、基金を活用した事業展開を検討する。

# 事業シート (事業名) 観光・シティプロモーション運営経費

## ◇事業目的・事業対象

観光・シティプロモーション課における一般事務や観光政策の推進に必要な経費を執行する。

## ◇事業の概要

観光政策の推進に関わる一般事務経費。  
観光アドバイザーを委嘱し、本市の観光政策に対してアドバイスをいただく。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	13,521	13,972	12,863	12,943
	決算	11,673	11,745	11,318	
	国・県支出				
	市債				
	その他	147	143	143	142
	一般財源	11,526	11,602	11,175	12,801
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		14,000	12,600	12,600	10,500
人工	正規	2.0	1.8	1.8	1.5
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

観光・シティプロモーション課の一般事務に要する経費。  
また、専門家からのアドバイスを観光政策に活かすため、観光アドバイザーを委嘱。

・事業の成果と課題

指標の達成度

観光・シティプロモーション課の事務遂行のため適正に諸経費を執行した。  
デスティネーションキャンペーン本番に向けた機運醸成のため、観光アドバイザーを講師に迎えてセミナーを開催した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

デスティネーションキャンペーン本番に向けた機運醸成のため、観光アドバイザーを講師に迎えてセミナーを開催した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

観光アドバイザーの候補者やアドバイザーを活用した事業を検討していく。